

# 反対が根強いカジノ誘致

## 都市経済委で井上浩議員



井上浩議員

掲げていた「2025年の大阪万博前の全面開業」が非常に難しいと言われるようになり、大阪市民の中でも反対の声が根強いと指摘。IRに対する市民の理解度についてたどりました。

井上氏は、北海道の鈴木直道知事がIRの道内誘致断念を表明し、その理由として自然環境への影響、66%の道民が不安や懸念を示していることなど挙げているとし、「(大阪で)市民の理解度や認知度について答えられないのは問題だ」と指摘しました。

大阪湾の埋め立て地・夢洲でのIRの事業期間を35年間と設定しています。井上氏は、もともと商業地ではなかった夢洲で長期にわたって事業を行うこと自体が最大の問題であり、これまでも防災面や環境面での課題を繰り返し指摘したと述べました。

都市経済委員会(4日)で井上浩議員は、カジノを核とする統合型リゾート(IR)誘致に向けて府市共同設置のIR推進局が公表した「実施方針」案などについて質問しました。

IR推進局は、市民向けセミナーの参加者アンケートで、9割以上がセミナーの内容を「理解できた」「ある程度理解できた」と回答したことを挙げ、

井上氏は、府市が当初

「正しい理解が進

「実施方針」案では、

さらに同じ夢洲で開く大阪万博のための工事との兼ね合いなど事業スケジュールから、マスコミでも「万博夢洲整備網渡り」「毎日」などの論調が生まれているとし、「これらを正面から捉えないと大変なことになる」と懸念を表明しました。